

講演会のお知らせ

昨年9月に大気エアロゾル中のPM2.5について国内の環境基準値が設定されました。今後、測定法の検討が行われた後に、重量濃度のモニタリングによる実態把握と、重量濃度を下げするための発生源対策が議論されていくと予想されます。しかしPM2.5には硫酸アンモニウムや硝酸アンモニウムと水分のように、あまり毒性が高くない、もしくは無害な成分が多く含まれていて、これら成分が重量濃度を押し上げていることも周知の事実です。

そこでPM2.5の金属成分に着目しつつ、最近の大気疫学の動向もふまえながら、今後のフィールド観測のあり方について議論できるような場を下記のように設けたいと思います。年度末でお忙しい時期と存じますが、多数参加していただけますようお願いいたします。

尚 講演会終了後、講師の先生を交えて活発な意見を交換できるように、懇親会を企画しております。ぜひご参加ください。

記

テーマ 「都市エアロゾルの組成と健康影響」
日時 2010年3月24日(水) 14時～17時
場所 大阪府立大学 産学官連携機構 本館(C10棟)5F 503号室 大講義室
(地下鉄 御堂筋線 中百舌鳥駅から徒歩20分
<http://www.osakafu-u.ac.jp/access/>
南海高野線 白鷺駅から徒歩10分)
主催 日本エアロゾル学会「都市大気エアロゾルと健康影響に関する研究会」
大気環境学会 近畿支部 エアロゾル部会

講演

- (1) 14:00-14:05 はじめに
- (2) 14:05-15:00 「放射線を利用した大気エアロゾルの分析方法」
伊藤憲男 (大阪府立大学 先端科学イノベーションセンター)
- (3) 15:00-15:55 「エアロゾル成分の健康影響に関する疫学研究の動向」
上田 佳代 (国立環境研究所)
- 15:55-16:05 休憩
- (4) 16:05-17:00 「大気エアロゾル研究における金属成分モニタリングの意味と役割」
飯島明宏 (群馬県衛生環境研究所)
- 17:30- 懇親会

以上

講演会の入場は無料で事前登録も必要ありません。

ただし懇親会に参加を希望される方は、3月16日(火)までに唐澤(e-mail : mkarasawa@mosk.tytlabs.co.jp)までご連絡をいただきたく、よろしくお願いいたします。